



ぬのめ 布目ダム 布目川の洪水被害を軽減

きづがわすいけいぬのめがわ みずしげんきこう ぬのめ
 木津川水系布目川の水資源機構が管理する布目ダム流域では、台風12号に伴う総雨量が81mmに達し、ダムへの最大流入量は毎秒約122立方メートルを記録しました。

この洪水に対して、布目ダムでは防災操作^{*}を実施し、ダム下流の興ヶ原^{おくがはら}水位局観測所付近で、河川水位を約0.6m低減(推定)させることにより、下流沿川の洪水被害軽減に努めました。

※『防災操作』とは、大雨などによりダム湖に流れ込む洪水の一部を貯水池に貯め込み、洪水を小さくして、ダム下流の河川に流すことを言います。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査等により数値等が変わることがあります。

平成30年 8月 1日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

奈良県政記者クラブ

奈良市政クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長 ^{ふくだ} 福田

住所：三重県名張市下比奈知2811-2

電話：0595(64)8961(代表)

布目ダム 布目川の洪水被害を軽減

7月28日、20時頃より降り始めた台風12号に伴う降雨は、淀川水系布目川の布目ダム（奈良県奈良市）上流域で、7月29日2時から3時の1時間の雨量が最大32mm、総雨量は81mmに達し、ダムへの最大流入量は毎秒約122立方メートルを記録しました。

この洪水に対して、流入量が増加し、29日3時30分には洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

今回の防災操作の概要

	流域平均 総雨量	ダムの減水効果が 最大となった時刻	同時刻におけるダ ムへの流入量	同時刻におけるダ ム流出量	ダムに貯留した量
布目 ダム	81mm	平成30年7月29日 3時30分	毎秒122m ³	毎秒23m ³	毎秒99m ³

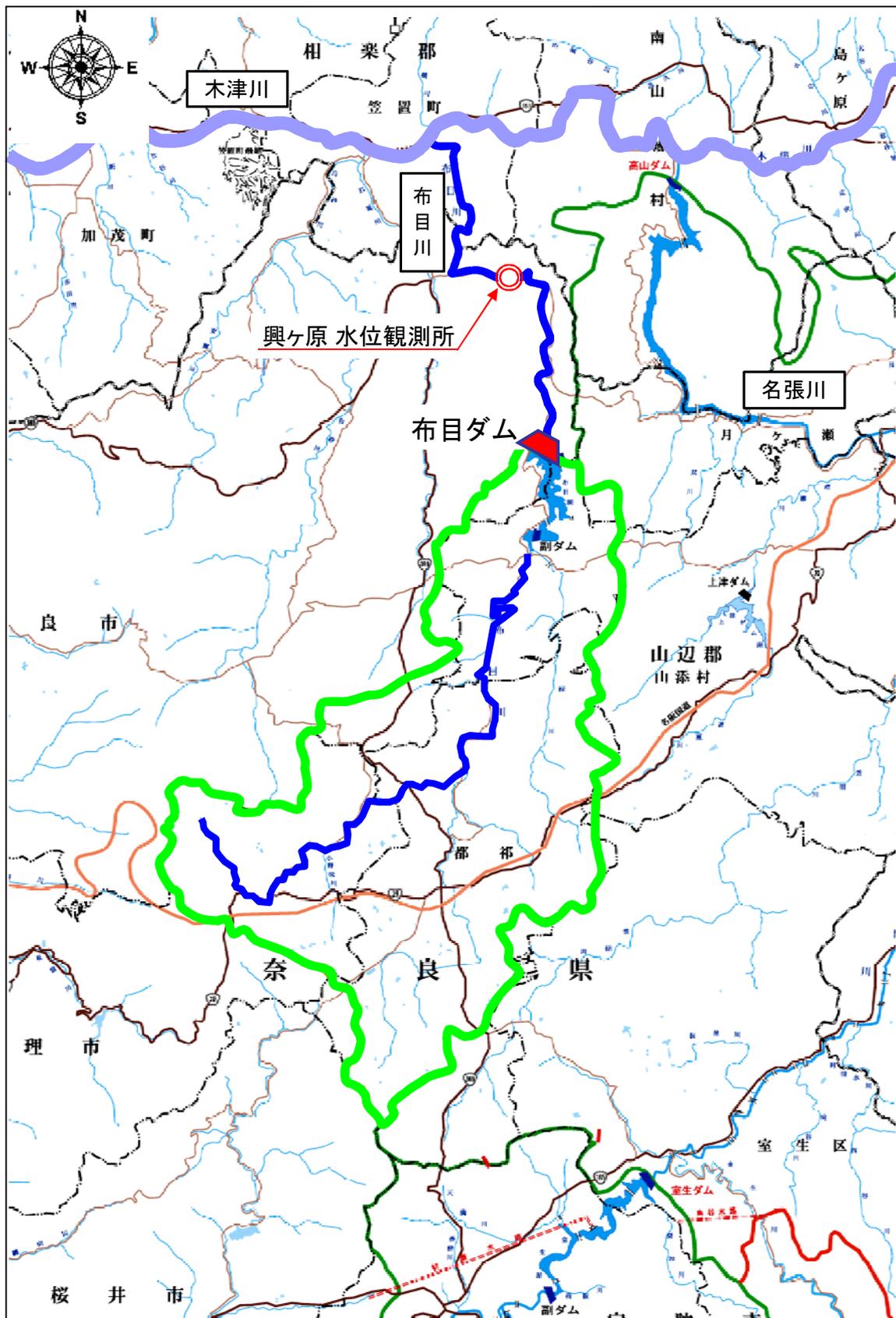
これまでの布目ダムにおける管理開始以降の最大出水記録

	記録年月日（原因）	総雨量	最大流入量
布目ダム	H29. 10. 22（台風21号）	270mm	毎秒210m ³

ダム下流の興ヶ原^{おくがはら}水位観測所では、布目ダムの防災操作によりダムが無い場合に比べて河川水位を約0.6m低減したと推定され、下流の洪水被害軽減に努めました。

布目ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

布目ダム流域平面図

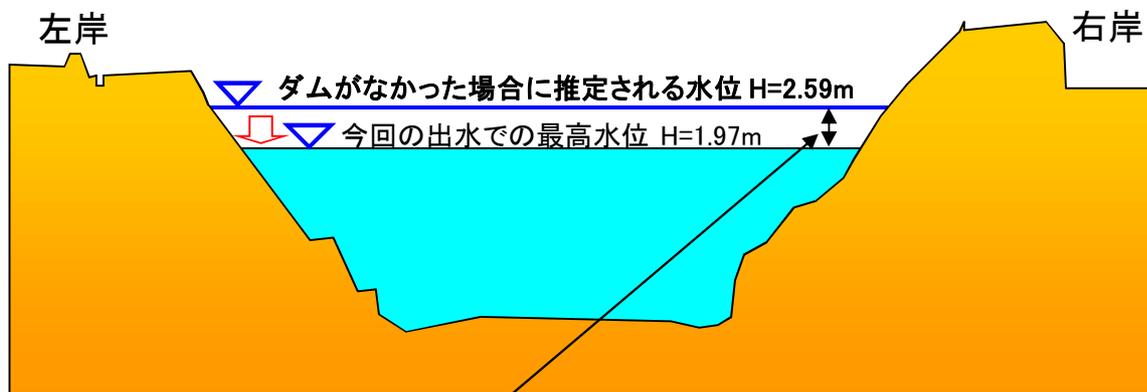


木津川 布目川 布目ダム流域

布目ダム下流河川の状況

平成30年7月29日(台風12号)

布目ダムの防災操作状況(興ヶ原地点)



ダムにより約0.6mの水位低減効果がありました。

※興ヶ原地点は、ダムから約6km地点

布目ダム 貯水池の状況

防災操作前の状況(貯留前)



貯留前 EL.280.11m(28日20:00)

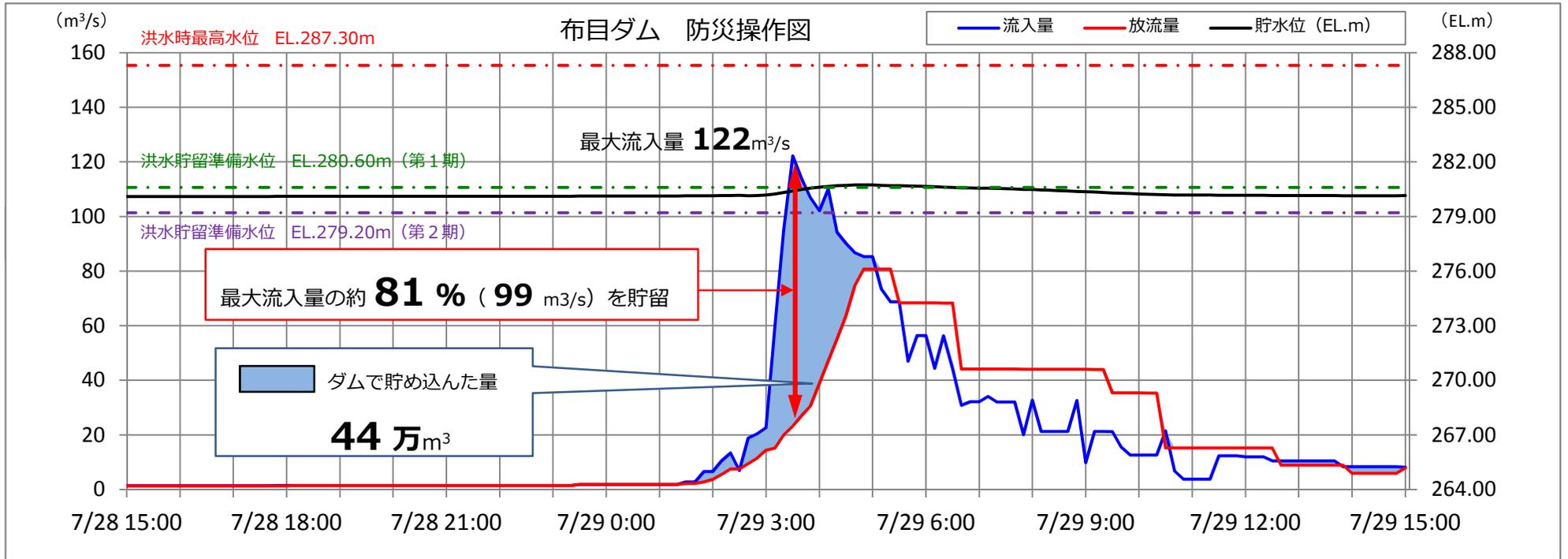
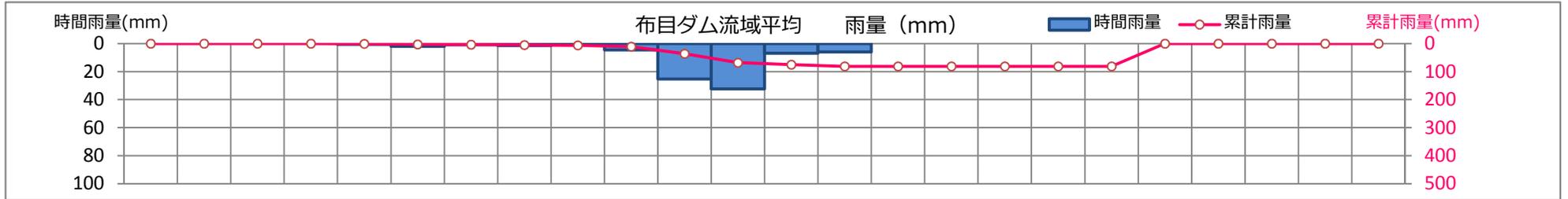
防災操作後の状況(貯留後)



貯留後 EL280.73m (29日4:40)
水位上昇 0.62m

※写真の撮影時間は異なります

布目ダムの防災操作



布目ダム概要

【ダムの諸元】

ダム型式：重力式コンクリートダム

(わきダム：ロックフィルダム)

堤体積：約331千 m^3 (わきダム：約271千 m^3)

堤高：72.0m (わきダム：18.4m)

堤頂長：322.0m (わきダム：128.0m) 合計450.0m

流域面積：75 km^2

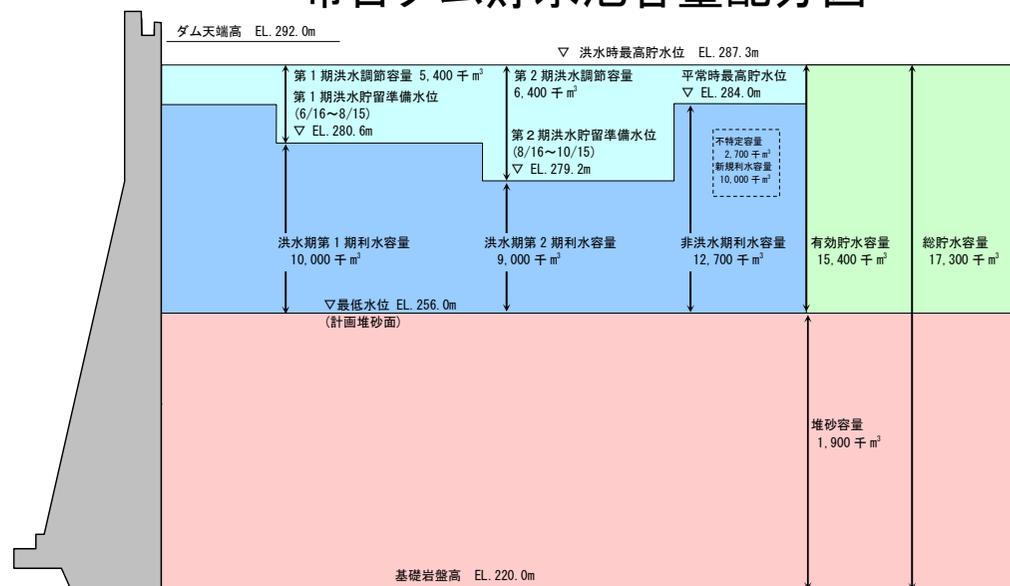
湛水面積：0.95 km^2

管理開始：平成4年4月

布目ダム全景



布目ダム貯水池容量配分図



【ダムの目的】

1. 洪水調節

貯水池に洪水を貯留することにより、下流河川での水位上昇を抑え、下流沿川地域の洪水被害を軽減する。

2. 水道用水

水道用水として、奈良市に最大1.1263 m^3/s 、山添村に最大0.0097 m^3/s を供給する。

3. 流水の正常な機能の維持

布目川の既得用水の補給等、下流河川の環境保全等のための流量を確保する。